

科目名（単位数）	対象年次	履修	期別	必要面接時数	レポート通数
地理総合（2）	原則1年次	必履修	通年	2	6
科目の概要	持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する学習を行う。				
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を養う。				
	学習内容	到達目標	スクーリング 回	レポート 回	試験 範囲
年間指導計画・学習のねらい	地図や地理情報と現代世界	地球儀や様々な種類の地図を通して、地図の有用性に気づき、地理的技能を身につける。 国家とは何かを学習し、また国家間の結びつきやそれらの課題を理解する。	1	1	前期
	生活・文化の多様性と国際理解	世界の特色ある生活文化を通して、地理的環境が人々の生活に与える影響を理解する。		2 3	
	地球的課題と国際協力	現在直面している地球的課題に注目し、地域差に応じた問題解決の取り組みが必要であることを理解する。	2	4 5	後期
	自然環境と防災	日本の地形や気候などを把握し、防災や減災のあり方について理解する。		6	
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。</p> <p>試験の得点は前期と後期の平均の35%、レポートは年間平均の50%、スクーリングの取り組み状況を15%とする。</p> <p>① レポート：教科書・地図帳を活用し、計画的に取り組むこと。</p> <p>② スクーリング：年間計画に従い、各自で予習、復習を行うこと。</p> <p>③ 試験の得点：再試験の得点は定期試験の得点とは同等に扱わない。</p>				
単位の修得	<p>① レポート：6回（前期3回、後期3回）を締め切りまでに提出し、合格すること。</p> <p>② スクーリング：年間2回出席すること。</p> <p>③ 試験：前期試験・後期試験をそれぞれ受けること。</p>				
使用教科書等	教科書：『高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる』（第一学習社）、『新高等地図』（東京書籍）				